

庄内小通信

ゆ 夢をもち り 理想に向かって の 伸びやかに き 毅然と進む ゆりのきっ子



庄内小学校通信

第23号

2024年10月9日



9月30日(月) サプライズ特別集会「サッカーボール贈呈式 presents by「明治安田」」 KAZU(カズ)さんが庄内小学校に来てくれました！

9月30日(月)午後、庄内小学校にJFL(プロサッカー・Jリーグの下部リーグ)のアトレチコ鈴鹿に所属している元サッカー日本代表のKING KAZU(キング カズ)こと三浦知良選手(以降、カズさん)が庄内小学校に来てくれました。「明治安田」さんがサッカーボールをカズさんの背番号11にちなんで11000個を全国の学校に寄贈する事業があり、企業タレントのカズさんが特別に子どもたちに直接ボールを手渡すために、日本で最初に来校していただいたのです。急遽決まったこの企画は、当日まで「校長先生による特別の学校集会」という名目で内緒にしていました。

当日のお昼前から次々と来校するスタッフの姿を見て、子どもたちは「校長先生、何があるの?」と尋ねてきました。私は、「そのうちわかりますよ。」とだけ答えましたが、さすが敏感な子どもたち、いつもと違うことを徐々に感じ取っていました。

集会の開始時間になり体育館に入ると、体育館の後ろには、ほぼ全部のTV局のカメラと新聞、雑誌等の記者がずらりと並んでいました。マスコミの数はおよそ20社、人数は本校の児童数73人の半分以上をゆうに超えています。集会を始める前に、私が子どもたちに「びっくりした?」と聞くと、ほぼ全員が頷きました。このようにたくさんのマスコミに囲まれる経験は、子どもたちも私たちも初めてです。

いよいよ特別の集会が始まりました。まず初めに、カズさんの動画を視聴し、「明治安田」さんがボールをプレゼントしてくれることを話しました。関係の来賓の方が入場した後、もう一人ゲストが入場することを伝えました。そして、まさかの本人登場、カズさんが前の扉から入場しました。館内は子どもたちの驚きの声と大きな拍手で溢れました。カズさんからボールをいただく役目は、6年生児童8名が児童代表として担いました。さすがの6年生も緊張は隠せませんでしたが、カズさんからボールをもらったり、優しく笑顔で握手していただいたりしていくうちに、ようやく嬉しそうな笑顔を見せました。カズさんが6年生児童にヘティングでボールをつなぐシーンを演出してくださり、会場から大きな歓声があがりました。



庄内小に来校したカズ(三浦知良)さん



カズさんからボールをもらいました



カズさんにヘティングでえいっ！



6年生児童が、カズさんにお礼の言葉を伝え、いくつか質問をしました。カズさんは、優しく丁寧に答えてくれました。「たくさん夢を語り、いっぱい汗をかき、いっぱい笑ってほしい。」「うまいかないことの方が多けれど、諦めずに最後までやり通す力をつけてほしい。」などと話してくれました。式の最後に、カズさんと全校児童で写真を撮りました。子どもたちは笑顔で溢れていました。カズさんが体育館を退場する時は、児童が花道を作りました。カズさんは、その花道を子どもたち一人一人にタッチしながら笑顔で退場されました。



花道でカズさんとタッチしたよ！



カズさんが近くに来てくれたよ！

カズさんが退場した後、6年生児童は、芸能人のようなマスコミの囲み取材を受けました。「(カズさんが大事にしている)今の自分を超えることを大事にしていきたいと思いました。」「自分にも将来の夢があるので、カズさんみたいに諦めずに前に進んでいこうかなと思います。」等と笑顔で堂々と答えていました。

その日の夕方のTVニュースや翌日の新聞に、カズさんと庄内小の子どもたちとのことがたくさん掲載されました。ネットを検索すると記事や動画が出てきますので、よろしければご覧ください。

カズさんとの出会いは、子どもたちにとって一生の思い出になったのではないのでしょうか。私自身、若い頃にサッカーをしてきましたが、カズさんは私にとって単なるプロサッカー選手ではなく、人生を学んだ尊敬する人です。カズさんは、周りに「あなたはプロになれない。」と言われても、夢を叶えるために高校を中退して単身ブラジルに渡りました。ブラジルですぐにはプロになれませんでした。諦めずに努力し続けることで数年後にブラジルの有名なクラブで活躍するようになりました。カズさんは「努力」の人なのです。そして、57歳になった今でも現役として徹底的に自分を厳しく律して、JFLの試合に出て最年長出場記録を更新し続けています。これもカズさんのたゆまぬ努力と強い心の賜物だと思います。また、カズさんが話してくれた言葉は、鈴鹿市内小中学校で取り組んでいる「非認知能力」と重なるものだとも感じました。そんなカズさんに出会えたことは、子どもたちの成長の糧となる大変すばらしい出来事だったと思います。これから子どもたち一人一人が夢を目標に変え、いきいきと生き抜いていく姿につながってほしいと心から願っています。



最後にみんなで記念撮影！